

ニットソーイングの基礎

2. 裏毛のパーカーの縫い方 -1/4

家庭用ミシンだけを使ってTシャツを縫う基本的な方法をここに記載します。

使用するのニット用のミシン針とニット生地用のミシン糸です。

お使いのミシンに「上送り押さえ」があればぜひ装着して下さい。

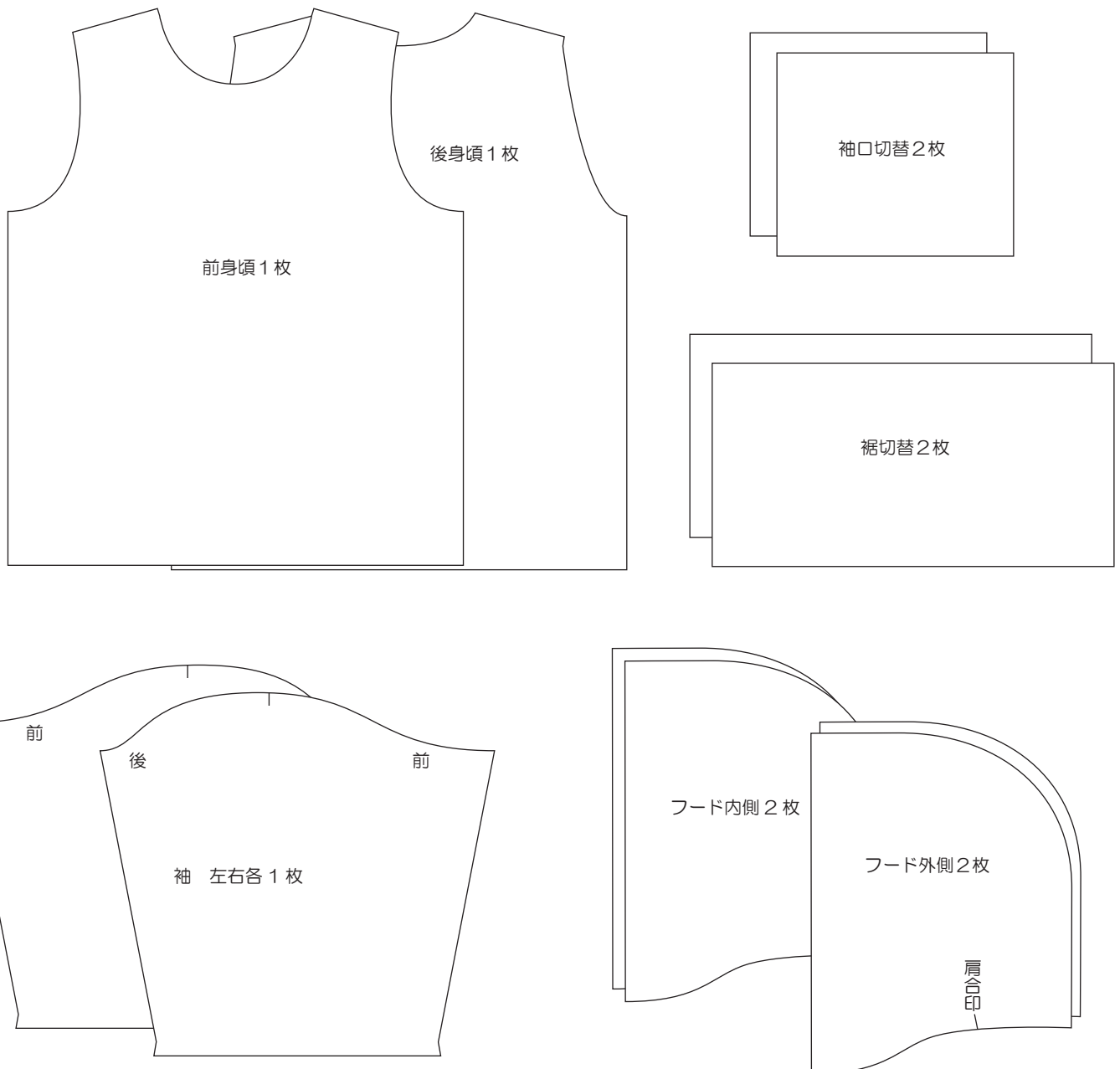
押さえの圧を変更できるミシンをお使いの場合は、一番低い圧力に設定して下さい。

どちらも無い場合は、押さえの下に生地を押し込むように縫うのを基本として下さい。

どんな場合でも引っ張りながら縫う事はさけて下さい。

やむを得ず縫い伸びしてしまった場合はスチームアイロンをあてると少し戻りますが
引っ張りすぎた場合は決して戻らなくなってしまう危険性がありますのでご注意ください。

1. 生地を裁断します。



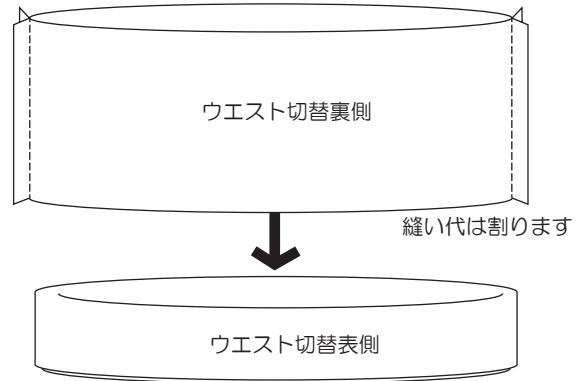
ニットソーイングの基礎
 2. 裏毛のパーカーの縫い方 -2/4

2. 前身頃と後身頃を中表に重ね合わせ、肩と脇を縫い合わせます。



家庭用ミシン使用の場合は
 縫い合わせたら生地端を2枚一緒にジグザグミシンで始末します。
 縫い代は後身頃に倒します。

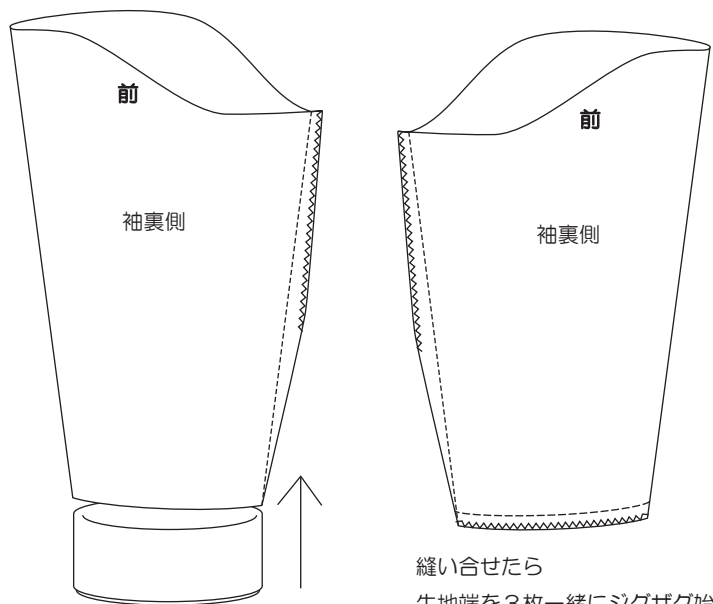
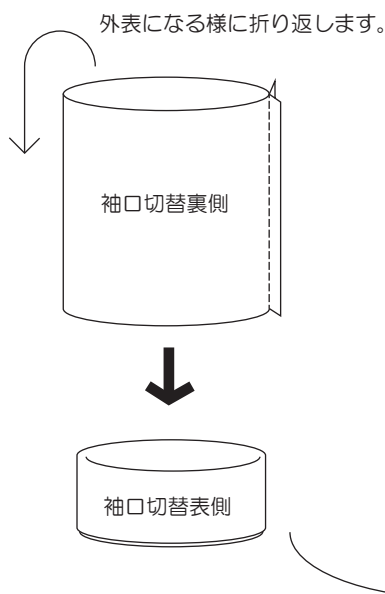
ウエスト切替もこのとき中表になる様に重ねて縫い合せ、
 外表になる様に二つに折り返します。



身頃裾部分にウエスト切替を入れて、
 両脇、前中心、後中心同士をマチ針で留め、
 ギャザーやタックが寄らない様に縫い合せます。
 縫い代は3枚一緒にジグザグ始末します。

3. 袖を中表に筒状にして縫い代を縫います。

縫い合わせたら生地端を2枚一緒にジグザグミシンで始末します。
 縫い代は後身頃に倒します。

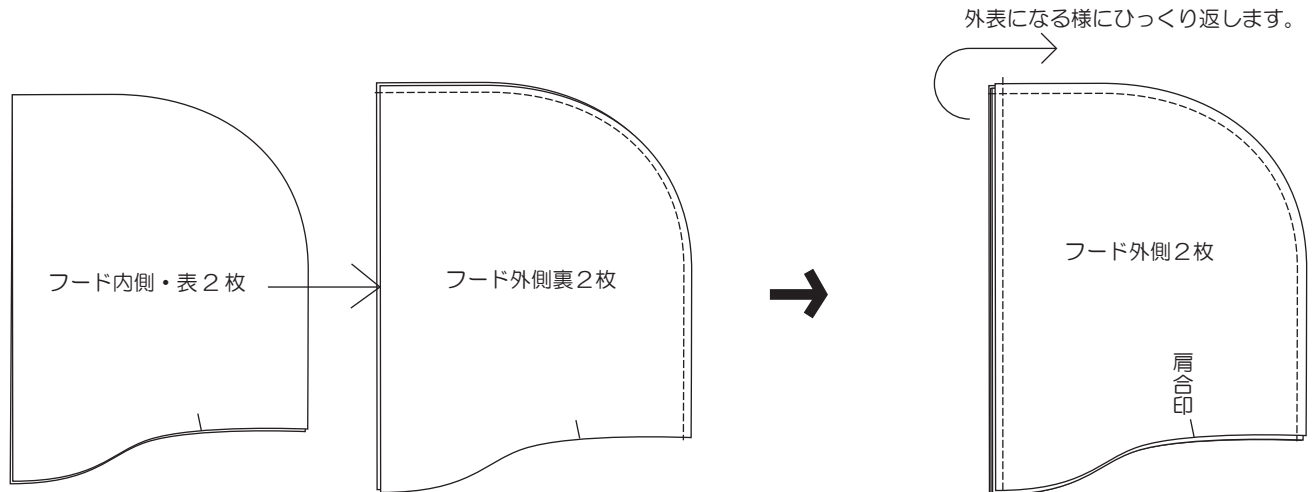


縫い合せたら
 生地端を3枚一緒にジグザグ始末します。

袖口切替もこのときに中表にして輪にして縫い合せ、
 外表になる様に二つ折りにして袖口に差し込み、縫い合せます。

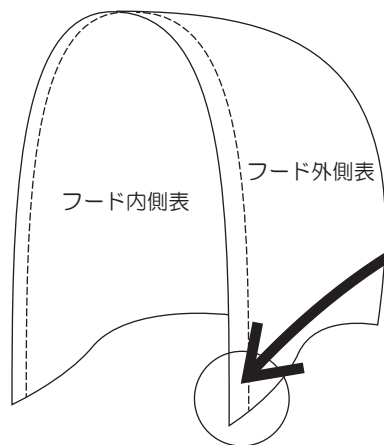
ニットソーイングの基礎
2. 裏毛のパーカーの縫い方 -3/4

4. フードを作ります。

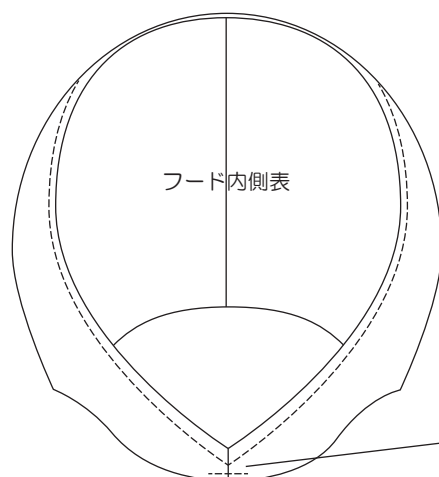


フードの外側と内側をそれぞれ後頭部で中表で縫い合せ、
外と内を中表に重ねて顔回りを縫い合せます。

フードを外表になる様にひっくり返したら
フード口（顔周り部分）に
1～1.5cm 幅（お好み）でステッチを入れます。

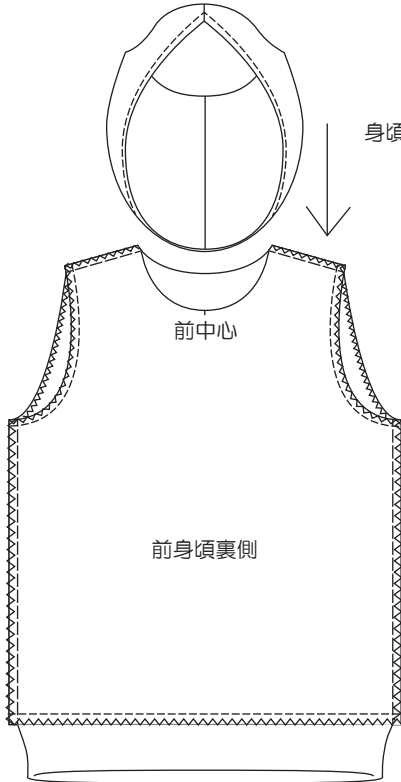


この部分に紐通し用の
ボタンホールまたはハトメ
をあらかじめあけておいても良いです。



フード口の前中心部分を捨てミシンでつなぎます。

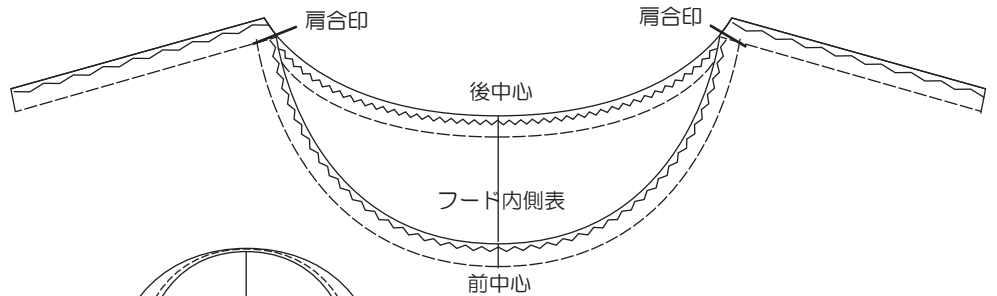
6. 身頃とフードを縫い合せたら出来上がりです。



身頃衿部分にフードを逆さまに入れます。

前中心同士、
後中心同士
肩合印同士をマチ針で留めて
縫い合せます。

縫い合せたら、
縫い代は3枚一緒にジグザグミシンで
端始末します。



表に返して、衿ぐりにコバステッチを施したら出来上がりです。